

船舶事故調査報告書

平成30年5月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成30年1月2日 13時27分ごろ
発生場所	広島県江田島市松ヶ鼻西方沖（江田島湾） 安芸中田港小方北防波堤灯台から真方位114° 1,400m付近 （概位 北緯34° 13.9′ 東経132° 27.0′）
事故の概要	プレジャーボートチィⅡは、東進中、干出岩に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成30年1月12日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート チィⅡ、15トン
船舶番号、船舶所有者等	270-36287広島、有限会社Hone
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船首部船底外板に破口を伴う擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約200cm（呉）
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、家族1人及び友人2人を乗せ、約2ノットの対地速力で手動操舵により江田島湾を東進中、‘松ヶ鼻西方沖の樽磯と称する干出岩’（以下「本件干出岩」という。）に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首約1.0m、船尾約1.5mであった。 船長は、江田島湾を約3回航行したことがあったものの、海図で水路調査を行ったことがなく、本件干出岩の存在を知らなかった。
分析	本船は、江田島湾を東進中、船長が、本件干出岩の存在を知らなかったことから、本件干出岩に向けて航行し、本件干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、江田島湾を東進中、船長が、本件干出岩の存在を知らなかったため、本件干出岩に向けて航行し、本件干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に海図等で航行予定海域の水路調査を行うこと。